

2012年8月28日
公明新聞に掲載されました。



小学校の耐震化工事の状況を視察する上田氏
(左から2人目)ら=27日 川崎市川崎区

全校の耐震化が完了へ

来年2月公明が着実に推進

川崎市

学校施設の耐震化の状況を確認するため、公明党神奈川県本部の上田いさむ代表(次期衆院選予定候補)は27日、川崎旭町小学校(荒川省子)を訪れ、耐震化・改築工事中の市立旭町小学校(荒川省子)を視察した。これには党市議団(菅原進団長)が同行。市は、

1995年から市内にある小・中学校(小学校113校、中学校51校)全てを対象に順次、耐震対策を行ってきた。

その結果、同校と東菅小学校の工事(ともに来年2月末終了予定)が終われば、全校の耐震化が完了する。

一行は市の担当者から、工事の日程や筋交いの設置、内・外壁を厚くするといった工事の本身について説明を受けた。

学校施設の耐震化については、市議会公明党が強力に推進してきた。

視察を終えた上田氏は、「他の自治体の学校についても早急、着実に耐震化を進めていくべきだ」と語っていた。